



Tanabe East Rotary Club in 2018-19

2018-19年度RI会長：ハリー・ラン

第2640地区ガバナー：樫畑 直尚

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：武田 静也

幹事：野村 憲司



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 武田 静也



■本日のプログラムは会員卓話として、坂本 正人 君です。後ほど宜しくお願い致します。

■本日3月6日(水) 田辺市役所 市長室に於いて「創立45周年記念事業」として設置した「防犯カメラ2機」の寄贈式を行いました。記念事業委員長の坂本正人君と、幹事 野村憲司君、副会長 森本修至君、会長として私、武田が出席して参りました。



■3月9日(土) ダイワロイネットホテル和歌山に於いて「PETS (会長エレクト研修セミナー)」が開催されました。会長エレクトとして中嶋伸和君と、ガバナー補佐予定者として私、武田が出席致しました。

■3月9日(土) 銀しろに於いて「RI第1分区懇親会」と、3月10日(日) 白浜ゴルフ倶楽部に於いて「RI第1分区親睦ゴルフコンペ」が開催されました。出席の皆様、有難うございました。お疲れ様でした。

■3月21日(水) 和歌山県JAビルに於いて「ロータリー財団補助金管理セミナー」が開催されます。会長エレクトとして中嶋伸和君に出席して致します。ご苦労様ですがよろしくお祈いします。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

■本日は奉仕食となっております。ご協力をお願いします。

○幹事報告 幹事 野村 憲司



◎3月10日(日) RI第1分区 親睦ゴルフコンペ
愛須勝章、岩崎泰人、小山實、丸山博之、野村憲司、佐田一三、坂本正人、武田静也、玉置佳範、畑地誠

■回覧

◎週報「田辺はまゆうRC」

◎紀伊田辺ライオンズクラブ様から
「結成60周年記念式典へのご臨席御礼」

◎樫畑ガバナー事務所より

「ガバナー月信3月号」

「『クラブ社会奉仕委員長会議』開催のご案内」

◎久保パストガバナーより

「RI第2640地区の不名誉な真実」

■連絡

◎次週3月20日(水)の例会は休会です。

次回は3月27日(水)です。

■例会日時変更

◎海南RC

3月20日(水) → 休会

3月27日(水) → 3月30日(土) 18:00～

場所：ふじ白庵 侘楓にて 「花見例会」

◎和歌山中RC

3月29日(金) → 休会

■メークアップ

◎3月9日(土) PETS (会長エレクト研修セミナー)

中嶋伸和、武田静也

◎3月9日(土) RI第1分区懇親会

本田耕二、森本修至、中嶋伸和、野村憲司、
武田静也、早稲田清司

○本日の唱歌

「あゝ田辺東ロータリー」

唱歌委員 玉置佳範 君



○出席報告

会員数 43名 義務免除 5名 本日の欠席者12名
本日出席率 68.4% 2月27日の修正出席率 91.67%

○にこにこ報告 (敬称略)

◇坂本正人君の卓話を寿ぎ記念して 「松の話」

上原俊宏、緒方雅男、岡本博、畔田実、谷中順次郎、
武田静也、竹中悟、竹村英一、玉置佳範、佐田一三、
野村憲司、本田耕二、丸山博之、山本亘、吉田和枝

◇沖 史郎 正人さん、頑張ってください。

◇坂本正人 卓話ががんばります。

◇泉房次朗 花粉症ひどく1区分ゴルフ欠席お詫び。

◇丸山勇人 ご無沙汰です。最近仕事忙しくて！！

休日は潮岬でグレ釣りしてます。米粒と名の有る
島に渡り、一日釣ります。貰ってくださる方、探
しています。もう100匹は釣りました！希望者多数

◇木村壽一 早退おわび！！

◇湯川和洋 お花頂きます。

☆皆様たくさんのニコニコありがとうございました。

○本日のプログラム

会員卓話

坂本 正人 君



「松ノ木の昔話」

私がロータリー・クラブに入る前のお話ですが、1984
年に今の紀南文化会館が完成しました。前の田辺高校
の跡地にです。

完成時には「こけら落とし」なるものがありまして、
舞台の上にもどうしても大きな生け花が要りました。当
時の私は1等航海士でしたが、父の海運業も不況の真っ
只中、経営不振に陥り(後に廃業)、自船も港に係船し
てたのでぶらぶらしていました。ちょうどその時、友
人の久保ちゃんから「おーいマサンド、1日5万円の仕
事あるんやけど、一緒にせえへんか？」って電話が
ありました。「何すんの？」って聞くと、「白扇閣の
女将糸川さんから山で松ノ木を1本切ってきて欲しいだ
けなんやけど。」って言われて、「なーんや木を1本切
るだけかいな、容易いことや。行こ行こ。」すんなり
その仕事を請けてしまいました。翌々日の朝、ちょう
ど今のゴルフ練習場パルコ周辺の山に、生け花の先生
と3人で松ノ木を探しに行きました。歩けど歩けどなか
なか見つかりませんでした。探し始めてからゆうに3時
間は過ぎていました。格好のいい松ノ木がいっぱいあ
るのに、生け花の先生は首を縦にはふりませんでした。
お昼休憩で大きな岩の上に乗りおにぎりを食べてたそ

の時、先生が「ありました！」って大きな声で叫びま
した。私達は「何処に！」って、あたりを見渡しまし
た。でもそれらしいものは見当たらず、あったのは半
分折れて曲がりくねった枯れたような松ノ木が、それ
も崖の上にそそり立っていて、切ろうものなら、自分
の体も滑落しそうな場所でした。久保ちゃんに両足を
ガッツリつかまえてもらい、上半身を崖に差出、チェ
ーンソーで根っこの上から10センチほどの所で切って崖
の下へ落としました。山から切った松ノ木を文化会館
の裏に置き、仕事は終了しました。すでに日は暮れて
おり、家に帰った頃は真っ暗になっておりました。5万
円は二人で折半しました。体はへとへとになってしま
い、やっぱり仕事には楽なものはないなあって思いま
した。数日たってから気になっていた松ノ木を見に行
きました。生け花の先生がどんな風にあの松ノ木を生
けたのか、少し楽しみにしていました。すると舞台の
上で生まれて初めて見る、縦2.5メートル、幅3メー
トルの立派な生け花がありました。あの松ノ木はいろ
いろな花達の下方を支えるように横に伸び、見事に役目
を果たしてるのが伝わってきました。私はいつしか目
に涙がいっぱい溢れておりました。どれ程の松ノ木を
見てきたでしょう、山ではパツとしない変な格好の木
が文化会館の「こけら落とし」では素晴らしい活躍し
たのです。

こんな感動をさせていただいた事に今でも感謝してま
す。 ー終わり

I 資源循環型社会の推進及び地球環境保全への貢献

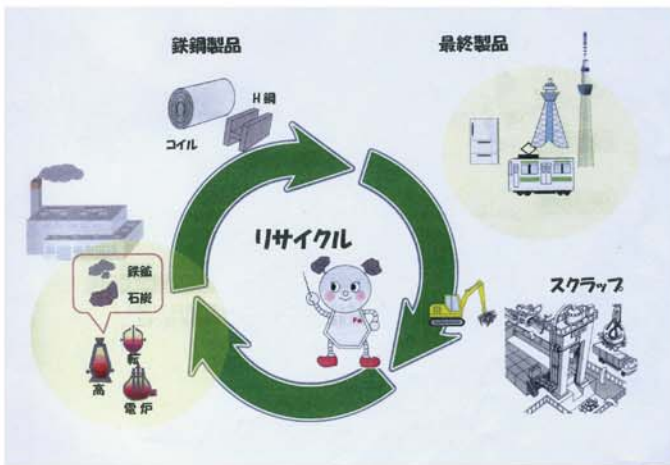
(1) 限りある資源の有効利用

われわれの身近なところで沢山の鉄がリサイクルされています。空き缶、スチール家具、乗らなくなった自動車等の乗り物、建築物が解体された時に発生する鉄骨や鉄筋等使われなくなった鉄鋼製品は、その大部分がスクラップとして集められ溶かされて再び新品の鉄鋼に生まれ変わっています。

天然資源がほとんどない日本にとって鉄スクラップのリサイクルは貴重な鉄鋼原料として重要な役割を担い、明治以降のわが国の発展とともに歩み続けてきました。我が国で一年間に生産されるおよそ1億500万トンの粗鋼のうち、2,400万トンが鉄スクラップのリサイクルにより電気炉で作られています。

なお、30年近く前から海外へスクラップ輸出が行われるようになってきており、全国から年間800万トンを超える鉄スクラップが、アジア地域を中心に輸出されるようになりました。

このように、国内の鉄リサイクルは国際的な広がりを見せています。そして限りある地球資源の有効利用と地球環境の保全の観点から「リサイクル」がますます重要性を増している中、鉄スクラップのリサイクルが果たす役割は一層大きなものになっています。



(2) 循環型社会への移行

高度成長時代は大量生産、対象消費、大量廃棄型の社会経済システムを推し進めたことで急速な経済成長を成し遂げ、人口も増加しました。一方では、消費される資源やエネルギー使用の増大による天然資源の枯渇、資源採集に伴う自然破壊、廃棄物大量発生に伴う処分場の問題などの環境問題は複雑化と深刻化を極め自然破壊がどんどん進んで行きました。国は環境保全に関する施策を計画的に推し進めるために、1993年に「環境基本法」を施行しました。それにより大量生産・大量消費・大量廃棄を率先する時代は終わり、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を出来る限り低減する社会への転換が進んでいます。

(3) 資源循環社会を支える法制度と関連法令

近年、環境基本法がベースとなり、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から天然資源の消費抑制と環境負荷を出来る限り低減する社会を目指すべく2001年に「循環型社会形成推進基本法」が施行されました。今では、廃棄物等の発生を抑制し（なるべくゴミを出さないこと）、廃棄物等のうち有用なものを循環資源（ゴミをできるだけ資源として使うこと）として利用し、適正な廃棄物の処理（どうしても使えないゴミはきちんと処分すること）をすることが求められています。天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を出来る限り低減する社会をどのように目指すかが問われる時代になっています。さらには国や自治体、事業者、国民の役割分担を明確にすることで「排出者責任」の定義を定め、色々な法律が制定されてきました。

(4) 地球環境保全にむけた「3R（スリーアール）」の取り組み

「環境型社会」を実現するためには、私たち一人ひとりが毎日の生活の中で心掛けねばならないこととして「リデュース（無駄なごみの量を出来るだけ少なくすること）」、「リユース（一度使ったものをゴミにしないで何度でも使うこと）」、「リサイクル（使い終わったものをもう一度資源に戻して製品をつくること）」の取組を進めていくことが大切です。「3R（スリーアール）」は、「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の英単語「Reduce」、「Reuse」、「Recycle」のそれぞれの頭文字を取り、循環型社会をつくるためのキーワード（合い言葉）となっています。わが国には「もったいない」という発想から大切に使う、まだ使えるものは使っていこうという文化があります。持続可能な循環型社会を構築していくための重要なアプローチであり、限られた資源を有効活用し、エコシステムを作り上げていくための重要な取り組みであります。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

II 鉄スクラップノ内外需給

(1) 世界の鉄スクラップ需給

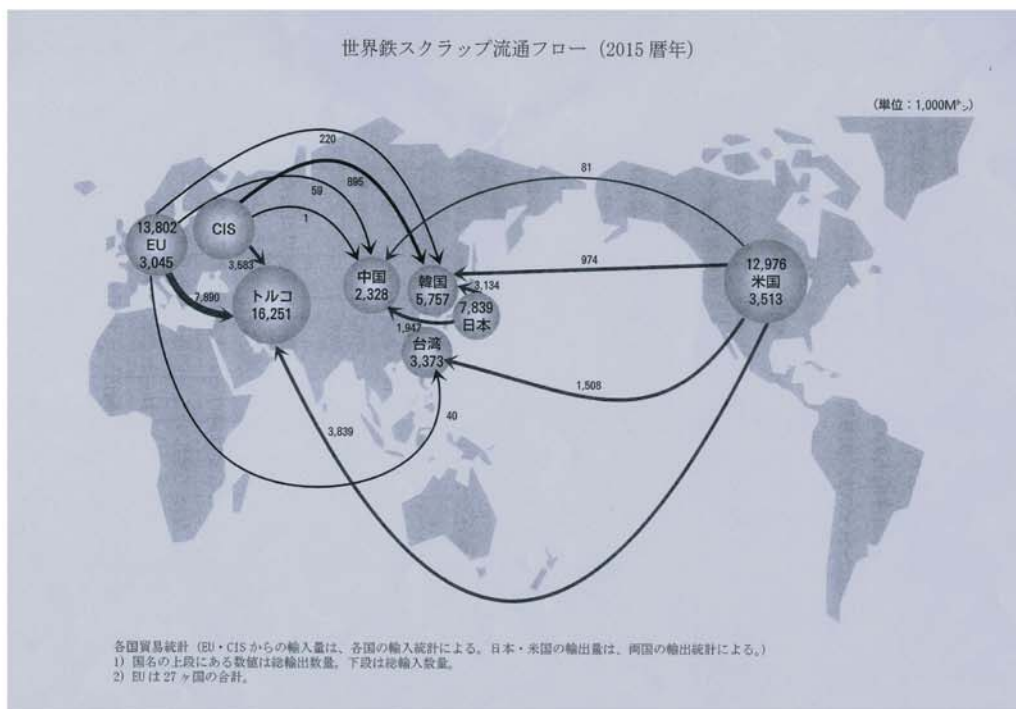
世界の鉄スクラップ需給を論じるに当たり、まずは『世界鉄スクラップ流通フロー』図を見てみましょう。本図は、世界の鉄スクラップの輸出入量がフローで示されており、現在の鉄スクラップの需要地と供給地が一目で分かる資料です。即ち、世界の鉄スクラップ貿易量は、8,400万トン前後で推移し、単一国で見れば最大の輸出国は米国（1,300万トン超）、日本も第2位（784万トン）の地位を占めていることがわかります。一方需要サイドに目を転じれば、最大の需要地はアジアであり、中でも中国と韓国がその過半を輸入し、欧州圏で最大の輸入国はトルコです。因みに、トルコは単一国ベースで見れば、最大の鉄スクラップ輸入国となっています。

(注) EUは輸出货量、輸入量とも大きくなっていますが、域内での流通が大半であり、本論では取り上げないこととします。

循環型社会の形成の歴史

年	法律（施行）	社会情勢等
1945	第2次世界大戦終了	廃棄物の問題は汚物による公衆衛生の問題を解決する「衛生問題」。
1960	高度経済成長期	大量の廃棄物が排出される中で不適正な処理による環境汚染が拡大。
1971	廃棄物処理法	…産業廃棄物も含めた廃棄物の処理責任や処理基準等を規定。
1991	再生資源利用促進法	…法律に基づくリサイクルの取組の促進の開始。
1993	パーゼン法	…容器包装6品目のリサイクル開始。
2000	容器包装リサイクル法	…天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減した「循環型社会」の構築。
2001	循環型社会形成促進基本法 資源有効利用促進法 家電リサイクル法 食品リサイクル法 グリーン購入法	…リサイクルの前にリデュース、リユースが優先する3Rの概念。 …再生資源利用促進法を全面改正。3Rの取組を総合的に推進。
2002	建設リサイクル法	
2005	自動車リサイクル法	
2006	容器包装リサイクル法改正	
2007	食品リサイクル法改正	
2008	第2次循環型計画策定	
2013	小型家電リサイクル法	…これまで大半が埋立処分されていた使用済小型家電のリサイクル開始。

世界鉄スクラップ流通フロー（2015 暦年）



○編集後記 3-13ひしのみ

のっこみちぬが釣れ始める頃となってきた。初春の水温が上がる頃、深場で冬を過ごした魚達が汽水域の漁場へと向かう季節である。さらに海水温が上がると底物も浜近くにやってくる、是を狙う釣魚法に投げ釣りがある。ただ時合いと水温が合わないと釣果は期待できない。そんな時、釣り人は竿先に鈴をつけて砂浜に横になるのが常である。事もあろうにその鈴を木につける人がいる。それは魚ならぬ来ぬ人を待つためであろうか。

「庭の山菜萸（さんしゅゆ）の木 鳴る鈴かけてヨーホイ ホイ」当地で多い名族那須性の那須大八と平家落人の鶴富姫、その恋物語が椎葉村で語られた恋の季節となってきた。 恋せよ乙女（ロータリアン）赤き唇あせぬ間に。



庭に咲く山菜萸の花

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか